

■ファッションデザイン学科カリキュラムの特色■

◆カリキュラムポリシー

ファッションデザイン学科では、ファッションの持つ視覚的なシルエットやその記号性を超え、人間の営み「衣・食・住・遊」を含む、ライフスタイルへの提案を大きなテーマに、基礎から高度な表現まで、ファッションに関する幅広い知識と技術を身につけることができます。テキスタイルやファッションのデザイナーとしてはもちろん、パタンナーなどの技術者、マーチャンダイザー、コーディネーターやアドバイザーなどファッションとテキスタイルのスペシャリストとして、活躍のステージを拡げていきます。

◆4つの柱がファッションデザイン学科のカリキュラムの特徴です

1. 自己の特性を発見し、伸ばすカリキュラム

自己の特性がどの方向に向いているのか見極めるために、基礎課程ではファッションという領域の中で興味・関心の幅を広げ、専門課程では各自の進路に沿って応用力が高められるように組み合わせで配置しています。実習・演習においても、共通と専門の科目を段階的に設定するとともに、専門性の内容を多様化し、各自の目的に沿った履修が出来るように考えられています。

2. 基礎・文化・美学・工学・ビジネスの講義を通じて幅広い知識を学ぶ。

アパレルやテキスタイルを人間と技術との相互関係において理解し、ファッションを歴史・文化・美学・工学の大きな流れの中で捉えます。こうした基本の重視は、現代の流行現象や情報を的確に捉える目を養い、専門分野を理解する際に必要な素養となります。さらに、産業デザインとしての視点からマーケティングや商品企画など、デザインとビジネスをつなぐ方法論も修得します。

3. 「実習」・「演習」でスキルを身に付け、感性を磨きます。

「実習」・「演習」は、ファッションデザイン教育の柱です。感性面と並んで、ITへの対処を含め技術面から内容を充実させ、グローバルな情報メディア社会や産業界への対応をめざしています。1年次から2年次前期までの実習では、基本的な知識やスキルを身に付け、各自の進路を見つけることを目的とします。2年次後期からの演習では、コースに分かれて専門性を高め、応用力を身に付けます。卒業研究は、作品提案の卒業制作または論文形式の卒業論文で、4年間の集大成に取り組みます。

4. 実習・演習・卒業研究は積み上げ方式になっています。

必修科目である「ファッションデザイン実習A・B・C」は、学科科目共通の実習であり、重要な内容を持っています。配当学年に修得することが望まれます。コース専門科目で選択必修科目である「ファッションデザイン演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「テキスタイルデザイン演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「ファッション企画演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、ステップアップの演習であり、順に履修することが望まれます。3年次修了時点までに、各コースの演習のいずれかを修得し、卒業研究につなげてゆきます。卒業研究に着手できる条件は原則として、3年次後期までに開設されている必修科目の実習、選択必修科目の演習のうち、単位が修得できていない科目が1科目以内であり、卒業要件を満たす全取得科目の単位の合計が100単位以上のものとします。

■各専門コースは明確な目標を持っています

①ファッションデザインコース

ファッションブランドで求められるアパレルデザインから舞台やブライダルなどのコスチュームデザイン、パターンメイキングまで高度なスキルと知識を修得します。ITに対応したアパレルCADや人間工学に基づく衣服設計理論、服飾美学の探究など服作りだけに偏らない幅広い教育を行っています。自分で作ったテキスタイルを用いた衣服制作ができるのも本学科の特色です。デザイナーやパタンナーなどの専門職として活躍することが目標です。

②テキスタイルデザインコース

シルクスクリーンプリントをはじめとした後染めの技法や糸染め、織やニット、フェルトなどの様々な技術をもとにイメージを布で表現する方法を学びます。基礎的な技術を修得した上で、衣服の素材、インテリアファブリック、アクセサリ、繊維を用いた造形表現であるファイバーアートなど、自由な発想で作品を作ります。企業のテキスタイルデザイナーなどの素材に関わる仕事やアーティスト等、幅広い領域で活動できる力を養います。

③ファッション企画コース

「新しいライフスタイルの提案」をスローガンとして取り組んでいます。社会性、需要という要素を満たす提案であること、そのためのマーケティング・商品企画・販売計画をトータルにプロデュースできる力を身につけるため、多角的なカリキュラムを組んでいます。

スタイリスト・コーディネーター・プランナーを始め、ブランドマネージャーやバイヤー、マーチャンダイザーなど、ファッションの可能性を追求していく人材を育てています。

この3本が主な柱となっています。講義・実習・演習では、デザインに必要な知識と技術、感性を磨くと同時に、調査や発表、企画力や提案力の育成を図ります。

ファッションデザイン学科カリキュラム(2017年度入学生用)

	基礎課程			
	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
学科共通科目	<p>ファッションデザイン概論</p> <p>ファッションデザイン画</p> <p>アパレルソーイング基礎</p>	<p>民族衣装論</p> <p>ファッションイラストレーション</p> <p>ファッションデジタル表現基礎</p> <p>パターンメイキング基礎</p>	<p>アパレル素材論</p> <p>ファッション企画概論</p> <p>ユニバーサルファッション</p> <p>ファッションデジタル表現応用</p> <p>テキスタイル素材と色彩</p> <p>パターンメイキング応用</p> <p>コスメトロジー</p>	<p>被服人間工学</p> <p>応用服装史</p> <p>染色加工と表現</p> <p>コスチュームデザイン</p> <p>アパレルソーイング応用</p> <p>スタイリング</p> <p>ファッションアクセサリー</p>
実習・演習	<p>ファッションデザイン実習A</p>	<p>ファッションデザイン実習B</p>	<p>ファッションデザイン実習C</p>	<p>ファッションデザイン演習Ⅰ</p> <p>テキスタイルデザイン演習Ⅰ</p> <p>ファッション企画演習Ⅰ</p>
特別科目	<p>フレッシュマンセミナー</p>			

必修科目

選択必修科目

選択科目

専門課程

3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
<p>デザインの現場</p> <p>織物とニットデザイン</p> <p>織物デザインCAD</p> <p>ドレーピング</p> <p>ファッション写真</p> <p>皮革デザイン</p> <p>ファッションと身体表現</p>	<p>ファッションブランディング</p> <p>ファッションアドバイザー</p> <p>服飾美学</p> <p>プリントデザイン</p> <p>ニットデザイン</p> <p>アパレルCAD</p>		<p>ファッション空間演出</p>
<p>ファッションデザイン演習Ⅱ</p> <p>テキスタイルデザイン演習Ⅱ</p> <p>ファッション企画演習Ⅱ</p>	<p>ファッションデザイン演習Ⅲ</p> <p>テキスタイルデザイン演習Ⅲ</p> <p>ファッション企画演習Ⅲ</p>		
		卒業研究	

ファッションデザイン